

# 広報さらべつ

# Sarabetsu

Public Relations Sarabetsu

2018

12

vol.675



## 今月の主な内容

- ◆ **特集** ささえ合うということ P 2～7
- ◆ 村の除雪についてお知らせします P 8～10
- ◆ 文化賞・スポーツ賞等表彰式 P 12
- ◆ 村のわだい P 16～17
- ◆ 村からのお知らせ P 18～19
- ◆ 公共施設などの年末年始業務状況 P 26

## 表紙の風景

11月、村内の幼稚園や小学校で発表会が行われ、子どもたちが毎日のように練習してきた成果を披露しました。

会場に集まった保護者や地域のみなさんからは温かい拍手が送られていました。

# ささえ合うということ

PRIDE～自分らしく生きるために～



誰もが歳をとり、いずれ高齢者となります。歳を重ねることに身体が思うよう動けなくなり、今まで一人でできていたことも思い通りにできなくなることも多くなってきます。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるためには、一人ではできなくなったことを誰かの力を借りなければ暮らすことができなくなるかもしれません。そんなとき、みなさんは誰に力を借りますか？家族や近所の友達、民間サービス、介護サービスなど、いろいろな力が考えられます。村では、その力の一つとして、地域の皆さんが困っている高齢者をささえ合う仕組みづくりとして生活支援体制整備事業を進めています。

## 生活支援体制整備事業とは

平成27年度の介護保険制度改正で、介護が必要になってからの支援だけでなく、必要になる前から地域住民が日頃から気にかけてい、支え合いができる「互助」の地域づくりが必要だということで生活支援体制整備事業が創設されました。

生活支援体制整備事業とは、それぞれの地域、すなわち更別村の実情に応じた取り組みが行われ、地域資源を使い多様な主体を活用しながら、高齢者を支援していく事業です。

自分たちで力を合わせて地域づくりをすることで、支援や介護が必要になってもできるだけ最期まで暮らし続けられる体制を地域につくっていくということを目的としています。



## 生活支援コーディネーターと協議体「ささえ愛さらべつ」

村では、生活支援体制整備事業を推進するため平成28年4月から更別村社会福祉協議会に業務委託をし、この事業を進める中心人物として「生活支援コーディネーター」を選任しています。平成29年3月には『世代を超えてみんなであつながりあう地域を目指そう』とメンバーが集まり、協議体「ささえ愛さらべつ」が設立されました。ささえ愛さらべつでは更別村の地域資源を活用しながら、さまざまなメニューを考え、コーディネーターとメンバーがネットワークを生かしながら、地域の互助を高めるための活動が実施されています。



生活支援コーディネーターの大岡恵子さん

## ささえ愛さらべつの活動

多くの自治体で実施されている生活支援体制整備事業の協議体は各団体の会長や委員長が構成メンバーとなり、それぞれのまちの課題がそこで検討されています。

しかし、村は特に固定したメンバーは決めず、参加できる方が話し合いの日に集まるという全国的にも珍しい方式をとっています。毎月第4木曜日を集いの日と決め、毎回10名前後が集まり地域課題が話し合われています。そこで話し合われたさまざまなメニューはメンバー自身が活動に取り組み、地域を巻き込みながら広がりをみせてきています。ささえ愛さらべつの活動は、新聞報道されたり他の自治体が視察に来るなど、とてもユニークで先進的な取り組みがされています。

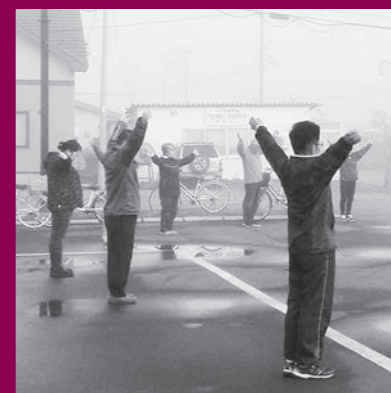




ささえ愛の集いでボランティアセンター登録団体と意見交換をした際に、「サロン参加者の移動手段」が課題に挙がりました。そこから村民バスの乗り方や路線、運行時刻を周知しようと、ささえ愛の活動で乗車するなどして方面別のバスマップを作成しました。

作成したバスマップは老人クラブなど集いの場で配布し、利用者自身が何時にどこで乗れるかを確認する「マイ時刻表」作りを行っています。

## ◆バスマップ



## ◆ラジオ体操

ささえ愛の集いで「何かしよう、何ができるか」と話し合いを重ねたところ、「すでにあるものを活かす」ことになり、継続的な健康維持と世代間交流が手軽に行えるラジオ体操に着目して活動がスタート。

「毎日顔を合わせられる」「短時間で済む」「動作が既に身に付いて誰でもできる」ことと、参加者が手作りのチラシを近隣へ配布することで活動が拡大し、村内5行政区で行われています(主に夏期)。

## ◆お茶会



住民の助け合いの実状を地図に記し、課題を見つける「支え合いマップ」。これを作成したことをきっかけに「地域で何が必要か」話し合いを重ねるうちに、世代交代するとゆっくり顔合わせする機会が少なくなることに気付いた北更別区では、内容や招待状の作成など全てを地域のみなさんで行い、行政区会館で婦人部OBの方の集いの場としてお茶会を開催しました。

レクリエーションやビンゴゲーム、作品展示など盛りだくさんの内容。懐かしい思い出もよみがえり、話も弾みました。

# ささえ愛の活動内容

## フトリポート

11月25日に老人保健福祉センターで開催されたふれあい広場で、予防医学研究者の石川善樹さんを招き「人生100年時代の健康法」と題した講演会を開催し、約120人が来場しました。

90歳・100歳まで元気に自立して生きるためにはどうしたらよいかという問いについて、予防医学の観点から解説が進められました。その中では、「つながりの多さと役割を持っているか」「笑顔と感謝でつながりを作ること」が大切と話していました。

講演に参加した方からは、時折参加者同士で問いについて話し合う時間が設けられたことに新鮮な感じが感じられたとともに、石川さんの話術に引き込まれて笑顔の絶えない講演会になりました。



## ◆ささえ愛のまちづくり講演会

## ◆ささえ愛農園

生活支援ハウスの入居者から「野菜や花づくりがしたいが体が思うように動かない」、「草取りや収穫がひとりではできなくなったので手伝ってもらえれば」という声があり、今年度ささえ愛さらべつの参加者がお手伝いする形で野菜作りに挑戦しました。

トマトやかぼちゃ、スイカも収穫でき、みんなで大喜び。かぶを使った漬け物を作って入居者や参加者みんなで美味しくいただきました。



### ささえ愛の集い

月1回開催されるささえ愛の集い。取材したこの日は18人が集まりました。

この日のテーマは、『9月の停電で感じた「支え合い」と『日常の見守り』について。今年9月6日に発生した北海道胆振東部地震により全道で停電した際の周囲の様子、災害発生時に必要だと感じたこと、日頃から見守り活動を行う上でどのようなことが考えられるかが話し合われました。

その中では「日頃から連絡手段を確認しておくことが大切」、「仕組みが必要なきもがあるが、みんなの善意を大切にしよう」、「自分が困ったときに何をしてもらいたいかを考えて行動しよう」といった意見が挙がっていました。



### ささえ愛の情報発信

ささえ愛さらべつでは、村内で取り組まれているさまざまなサークル活動などを伝える「さらべつ活動カレンダー」を作成し、村内の公共施設や商店街など各所へ掲示しています。また、取り組みを周知する手段のひとつとして、SNSを通じてささえ愛さらべつの取り組みを若い世代にも知ってもらうと、フェイスブック「ささえ愛さらべつ」を今年8月に開設し、生活支援コーディネーターとささえ愛の参加者で情報発信を行っています。


**ささえ愛さらべつ**  
 生活支援体制整備事業協議体  
 @sasaeai.sara 検索

# VOICE

ささえあって暮らしていくために必要だと感じていること、不安に感じていることを聞きました。



## 今わたしたちができること

ささえ愛さらべつは、お互いがささえ合いながら村で最期まで暮らしていけるような地域づくりを目指しています。

今後、村では更に少子高齢化が進み、核家族化も増加。隣近所との付き合いもなくなり、隣に住んでいる人の顔も分からないなんてことも懸念されています。介護保険計画では、高齢者がどんどん増えていき高齢化率は2025年には33・7%、2045年には40%を超えると見込んでいます。これらを踏まえ、10年後、20年後を見据えての活動をしていかなければなりません。

みなさんもぜひ、今の更別、将来の更別を一緒に考え、それぞれの得意分野・ネットワークを活かして地域づくりをしてみませんか。

● 問い合わせ  
ささえ愛さらべつ

(更別村社会福祉協議会)

☎ 53・3500



ささえ愛さらべつの活動に参加されている方に、10年後の更別村がどのような村であってほしいか、その願いのためにどのようなことができるか思いを聞きました。

**さ** さえ愛の活動に取り組む中で「次の世代に仲間になってもらうこと」が課題と感じています。支える人と支えられる人が一緒に行動できればいいと考えているのですが、若い世代の方たちは自分たちのことや子育てなどに一生懸命で、将来のことまで想像するのが難しいのではないのでしょうか。子育てなどが一段落するまでどうやって活動を

## 10年後の更別村

どのような村であってほしいか、ささえ愛の活動に参加されている方に思いを聞きました。

つないでいくか悩むどころです。周りに上の世代しかいないとなると、支えてもらってばかりになって、いつかは地域が消えてしまうのではという不安があります。

**今** 若い世代の方たちに一緒に何かしませうと言っても忙しかもしれないので、まず彼らの両親世代の方たちと一緒に活動に取り組むことができれば、つながりが持てるかもしれませんね。

理想は、若い世代の方たちにあえて支え合いましよう助け合いましようと働きかけるのではなく、私たちが楽しいことや自分がしたいことをやってつながりを作ってそれを広げていくイメージです。私たち先輩が楽しく活動して年を取って、それを見た若い世代の方たちが将来こうなりたいなと思ってもらえるようになると良いですね。

**さ** さえ愛の活動に参加して話をするのがとても楽しいです。自分の思いを素直に伝えられて、それを聞いてくれる環境がありがたいです。

今後、高齢者だけで支え合うというわけにはいかないので、世代に関係なくお互いに役割を持って、つながることができたら良いですね。顔見知りになったり、声をかけ合ったりしてつながりが生まれて、それが支え合いに変わるのだと思います。



### 若い世代へのメッセージ

最後に、ささえ愛の活動に参加している方がこれからの若い世代にどのようなことを望んでいるか聞きました。

「街の中であいさつとか一言声をかけあえるような関係になれば」  
「健康増進室で走ってる若い人を見ていいなって思う。どんな若さを発揮できることをやってほしい」  
「私たち先輩が趣味やしたいことでつながりを作って楽しそうにしている姿を見て、若い人たちが将来こうなりたいなと思ってくれたら」

# 冬の暮らしを快適に

〓 村の除雪についてお知らせします 〓

寒さが日ごとに厳しくなり、本格的な降雪シーズンが到来しました。

村では冬の生活道路を確保し、みなさんの生活を支えるため除雪体制を整えています。しかし、迅速で効率的な除雪作業を行うためには、地域にお住まいのみなさんの協力が欠かせません。

一人ひとりがマナーを守り、冬の暮らしを快適に過ごせるようにしましょう。

今月号では、除雪路線や行動内容などについてお知らせします。

除雪作業へみなさんのご理解とご協力をお願いします。

## 除雪の注意点

### ■ 除雪車に近づかない

作業中の除雪車は何度も前進や後退を繰り返すことがあるため、車両の前後を横切ったり、通り過ぎた直後に道路を渡らないでください。

自動車の運転中に対向車線から除雪車が近づいたときは、通り過ぎるまで車を停止してください。

### ■ 雪を路上に出さない

市街地の除雪では、歩道を小型ロータリー車で、車道を除雪トラックまたはグレーダーで雪を道路の片側に寄せ、ロータリー車で排雪します。

除雪車が通る前に自宅敷地内の雪を道路に投雪すると、車両の通行に支障が出たり、ハンドルをとられ交通事故の原因となる可能性がありますので、雪を路上に出さないでください。

### ■ 駐車場には 隅から順に停める

車が分散して駐車していると、その間を縫うように除雪を行うため作業の効率が悪くなります。

降雪が見込まれているときに公共施設の駐車場へ車を止める場合は、隅から順に停めてください。

### ■ 除雪する歩道に 雪を積まない

ロータリー車で除雪が困難になり、作業が遅れる場合がありますので、歩道に雪を積まないでください。

### ■ 路上駐車をしない

除雪車が路上駐車車両の車両に接触しないように慎重に通過するため、作業全体が遅れるばかりか、きれいに除雪ができず多くの方に迷惑がかかりますので、路上駐車はしないでください。

## 除雪の基準

### ■ 作業開始は 安全確保を優先

除雪車の出動は10センチ程度の積雪を目安としています。しかし、事故防止のため日中は積雪量が10センチに達しても、降雪状態を見ながらすぐに作業を開始せず、翌日の午前3時30分頃から通学・通勤の時間に間に合うように行います。

### ■ 大雪の場合は直ちに 1次路線から除雪

乗用車が走れなくなるほどの大雪の場合は、日中であっても直ちに1次路線の除雪を開始します。ただし、2次路線・3次路線は翌日の通常開始時間から実施します。

吹雪などで視界が悪くなった場合は、除雪車の事故防止のため天候が回復するまで作業を遅らせることがあります。

### ■ 除雪は市街地の 優先道路から

大雪の場合は、最初に更別市街と上更別市街の1次路線から除雪を始めます。

農村部は1次、2次、3次路線の順に除雪を始め、並行して市街地の仕上げ作業を行います（路線区分は9ページ、10ページをご覧ください）。

乗用車が通行できる積雪量のときは、路線順に関係なく効率的な順番で作業を行います。

### ■ 雪捨場は 村内2か所に設置

住宅敷地内の雪の排雪場所は、更別・上更別地域にそれぞれ1か所ずつあります。

更別地域は東15号沿いの南4線〜5線間、上更別地域は上更別墓地北側の道道沿いです（9ページの路線図でご確認ください）。

## 農村部除雪路線図

1次路線 2次路線  
3次路線 国道・道道



※ 3次路線の一部については、これまでに引き続き、各行政区のご協力により『住民協働事業』の一環で除雪が行われています。

# 村内ステージめぐり



11/10

上更別小学校・上更別幼稚園  
合同学習発表会



11/11

更別小学校  
学習発表会



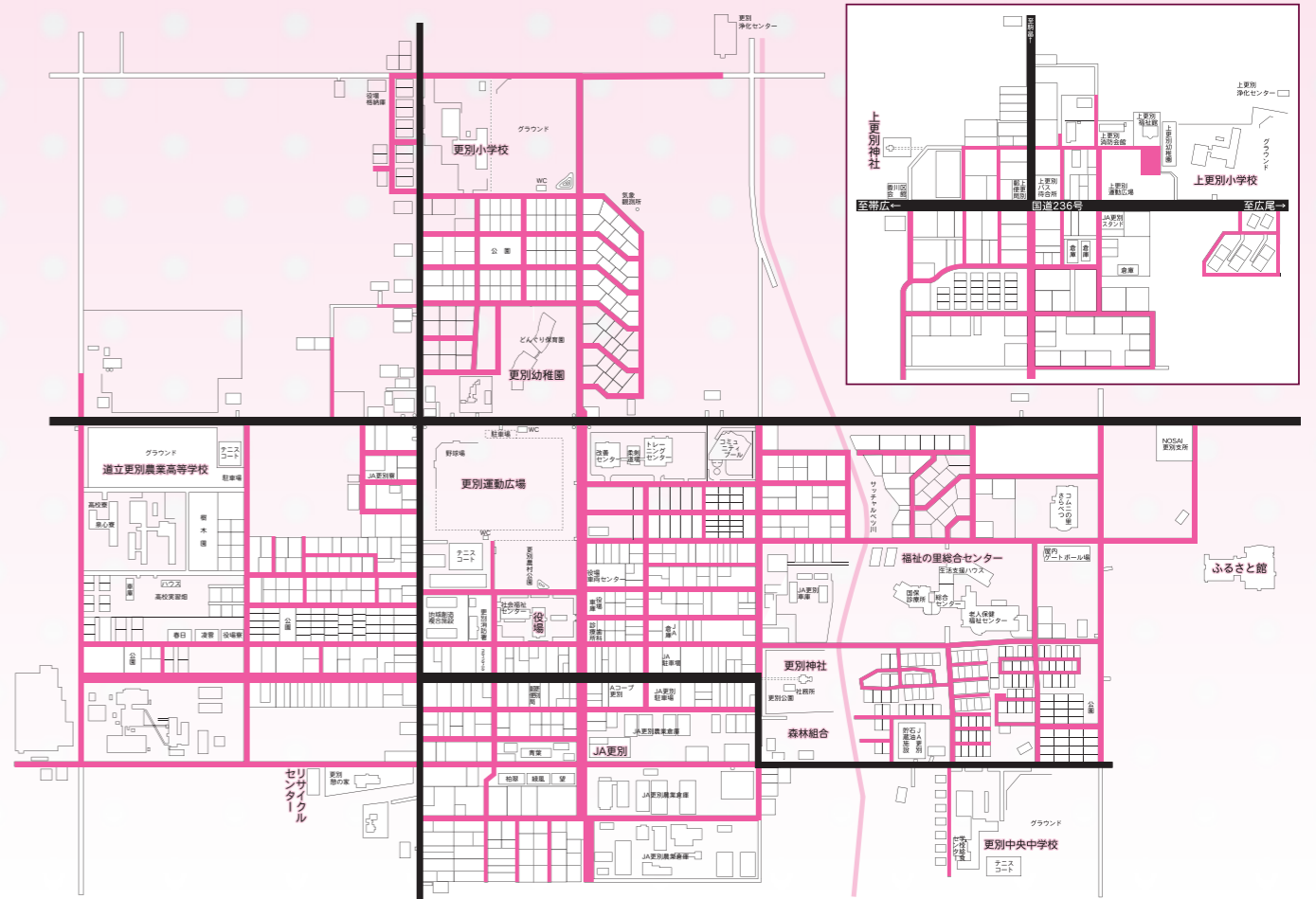
11/18

更別幼稚園  
保育発表会



## 市街地除雪路線図

1次路線 国道・道道



## ❄️ 除雪に関するお願い ❄️

■積雪状況によっては  
作業が遅れが出ます  
「積雪量が多い」、「雪が湿っている」などの原因で作業が遅れが出る場合は、1車線分の除雪となることがあります。

■除雪後の支障箇所を  
「ご」報ください  
除雪車が通った後、吹雪などによる吹き溜まりなど、交通に支障がある箇所を見つけた際には役場へ連絡願います。

■歩道側に一度  
雪を集めます  
市街地を除雪する際、雪を歩道側に集めてから排雪します。住宅の出入り口が道路に面している方はご理解願います。

■除雪に関する「ご意見」を  
お待ちしております  
除雪に関するご質問・ご意見は役場まで連絡願います。  
●問い合わせ  
役場建設水道課道路維持車両係  
☎ 52・5200

### ★大型ロータリー除雪車を 更新しました

車両の老朽化のため、大型ロータリー除雪車を更新しました。従来の車両と比べ、環境に配慮しつつ馬力を強化したエンジンを搭載しており、除排雪作業の効率化が期待されます。今シーズンの除雪作業から使用を開始しています。



# 長年のご功績をたたえて

## 瑞宝単光章

### 西田 國藏さん(中央町)

平成30年秋の叙勲で、中央町の西田國藏さんが地域の消防団で防火などに尽力された長年のご功績を認められ、瑞宝単光章の叙勲を受章しました。11月26日に伝達式が執り行われ、西山村長からご長男の高芳さんに勲記などが手渡されました。

西田さんは昭和36年に更別消防団に入団。昭和62年から12年間分団長を務めるなど平成10年の退任まで消火活動や防火啓発の推進に取り組みました。

今回の受賞について高芳さんは「父は消防活動が好きで、強い使命感を持って取り組んでいました。今回の受賞はみなさんのご指導とご協力のおかげであり感謝します」と話してくれました。



## 文部科学大臣表彰 社会教育功労者表彰

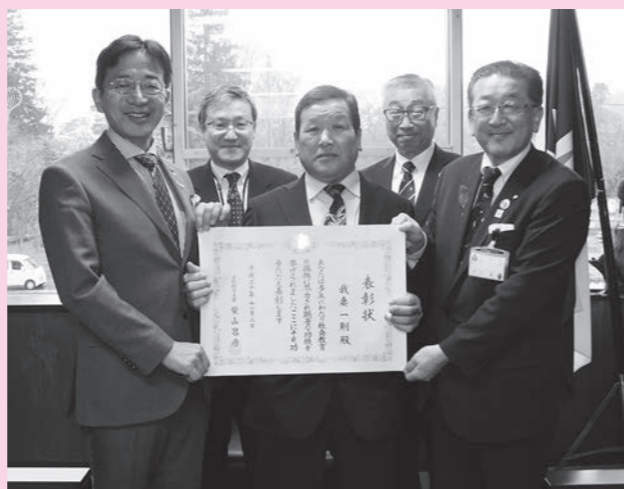
### 我妻 一則さん(協和区)

村の社会教育委員長を務め、社会教育行政をはじめ村の文化活動などに多大な貢献をされた協和区の我妻一則さんが、社会教育功労者として文部科学大臣表彰を受賞しました。

我妻さんは平成13年に村社会教育委員に就任。平成19年から現在まで委員長を務めています。

「更別村教育の日」の制定などで中心的な役割を担われたほか、村内外で社会教育の振興に尽力されています。

我妻さんは「日頃から家族の理解と社会教育に携わる方々のご指導とご支援のおかげです。この名誉ある表彰に恥じぬよう一層努力し、村の発展に寄与できれば」と話してくれました。



## 帯広税務署長表彰

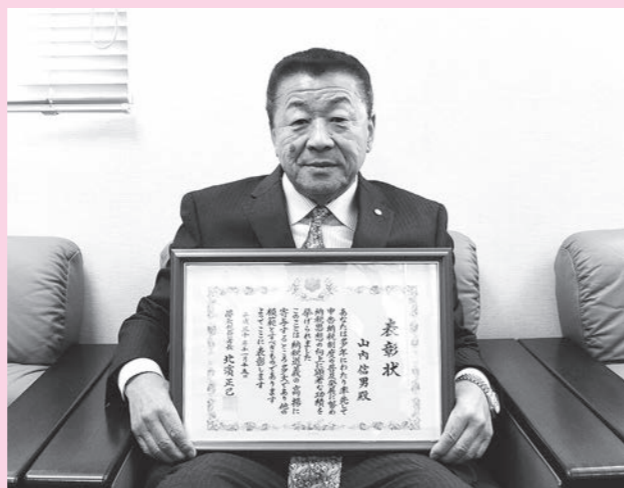
### 山内 信男さん(錦町)

e-Taxの利用促進をはじめ税務行政に多大な貢献をされたとして、帯広地方法人会更別地区会長を務める山内信男さん(錦町)が、平成30年度帯広税務署長表彰を受賞しました。

山内さんは平成19年に更別地区会の理事に就任。平成21年から現在まで会長を務めています。

更別地区会では、適正な納税のために税務研修会を開催するほか、社会貢献活動として毎年植樹を実施しています。

山内さんは「活動を評価していただき嬉しい。今後も活動を通して適正な納税を呼びかけていきたい」と話してくれました。



## スポーツ賞

### 宗宮 吏玖さん



第41回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会男子チームスプリントにおいて3位に入賞するなど輝かしい成績を収め、更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

## スポーツ賞

### 飯塚 健斗さん



第36回全国高等学校アーチェリー選抜大会ミックス戦において3位に入賞するなど輝かしい成績を収め、更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

## スポーツ奨励賞

### 木本 伸次さん



多年にわたり更別村サッカー協会の役員として、会の運営と発展に尽力され、更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

## スポーツ奨励賞

### 久富 亜希子さん



多年にわたり更別バレーボール少年団の指導者として卓越した指導力を発揮し、多くの優秀な部員を育成するなど更別村のスポーツ振興に貢献した功績。

# 平成30年度 文化賞・スポーツ賞等表彰式

「文化の日」の11月3日、文化・スポーツ活動の振興に貢献された方や、優秀な成績を収めた方の功績をたたえる『更別村文化賞・スポーツ賞等表彰式』が行われました。式典では、荻原教育長が受賞者へ表彰状と記念品を贈り、「受賞されたみなさまには永年にわたり各分野の振興・発展に多大な貢献をしていただきました。ご努力とご尽力に感

謝と敬意を表します」とあいさつ。来賓の西山村長と松橋村議会議長の祝辞に続き、受賞者を代表して木本伸次さんが「これまで多くの地域の方に支えられながら活動を続けてくることができました。これからも地域が元気になるよう活動していきたいと思っております。ご指導をよろしく願います」と謝辞を述べられました。



### にこにこ子育てサロンを開催しました

子育て応援課では、育児中のお父さんお母さんに向けて「子育ての参考になれればいいな」「リフレッシュの機会になればいいな」という気持ちを込めて、毎年『にこにこ子育てサロン』を開催しています。

今年度は、10月15日に2～3歳のお子さんを対象とした親子運動教室を、11月13日に村の発達支援相談員の古川先生による座談会を開催しました。

#### 10月15日 親子運動教室

健康運動福祉士による「身体を使った遊びの大切さ」についてミニ講話があり、親子体操・ストレッチをしました。続いてバスタオルやボール、新聞紙を使いふれあい遊びを取り入れた運動で親子の時間を楽しみました。最後は先生と忍者になって走って跳んで、たくさん身体を使って遊びました！



家でもできそうなことがあったのでやってみようと思いました。

とても楽しかったです。子どもと一緒に身体を動かすって大切ですね。



#### 11月13日 座談会「笑顔で子育て～こころを育む親子のふれあい～」

すこやかなこころの発達を支えるかかわりについて、古川先生からお母さん方に向けてたくさんのメッセージが贈られました。

**♡ 元気がないときは抱っこ**  
抱き癖は気にしなくてもいい。いつかは自分から離れていく。今たくさん触れ合ってあげよう。

**♡ 笑顔、笑い声の分かち合い**  
親子でたくさん笑い合おう。

**♡ プラスのメッセージを贈ろう**  
例えば… おもちゃを一個片付けたとき  
できたことをほめてあげる。  
「ありがとう。上手にできたね」  
⇒ほめられることで人を思いやる子に育つ。



優しい気持ちになりました。「いつか成長し大きくなる。大丈夫」先生の言葉が心にしみました。

●問い合わせ 役場子育て応援課母子保健係 ☎ 53 - 3700

## スピードスケートワールドカップ初出場！



### 酒井 寧子 選手

更別中央中学校卒業後、帯広南商業高校、高崎健康福祉大学に進学し、現在は茨城県競技力向上対策本部所属。

更別村出身の酒井寧子選手が、スピードスケートワールドカップの日本代表に初めて選ばれました。11月7日に役場を訪れ、ワールドカップ初戦の帯広大会を前に抱負を語ってくれました。酒井選手は、今年からナショナルチームに参加し、国内トップレベルの選手とともに練習を積んできました。そして、10月26日から28日に長野市で開催された全日本距離別選手権の5000メートルで初優勝。3000メートルでは3位に入り、それぞれの日本代表に選出されました。帯広大会では3000メートルに出場。地元で開催される大会について「挑戦者として世界にアピールし、お世話になった方には成長を感じてもらえる滑りをしたい」と話していました。村のみなさんに向けて「大津広美さんがオリンピックで活躍される姿を見て、私も世界で活躍することを目標に頑張ってきました。いつも応援していただき感謝しています」と笑顔。スケートに取り組み子どもたちには「目標を決めてあきらめずに頑張ってください」とエールを送りました。

## 川上さんが2年連続優秀賞

### 農業クラブ 全国大会

10月に鹿児島県で開催された日本学校農業クラブ全国大会で、農業科3年の川上優太さんが農業鑑定競技会で2年連続優秀賞を受賞しました。

川上さんは、大会に向けて模擬鑑定や過去問に取り組み、苦手分野は参考書で調べたりノートにまとめたりして大会に備えました。大会当日は前回大会出場の経験を活かして緊張もなく冷静に競技に取り組み、見事入賞を果たしました。11月5日には更別農業高校で報告会が開かれ、「先生方のサポートもあり、2年続けて受賞することができ嬉しいです。最優秀賞を目指していたので悔しさも残りますが、家族を含め周りのみなさんが喜んでくれたので良かったです」と話してくれました。







11/23 日頃の練習の成果を発揮  
村総合文化祭芸能発表会が開催

今年で55回目となる村総合文化祭芸能発表会(実行委員会主催)が社会福祉センターで開催され、村内のサークルで活動するみなさんや園児など約140名が歌や踊りなどを披露しました。  
開会式では村瀬泰伸実行委員長が「新しいグループも参加します。あたたかい声援をお願いします」とあいさつ。出演者のみなさんはきれいな衣装に身を包み、練習を重ねてきた成果を存分に発揮。演目が終わると会場からは大きな拍手が送られていました。



11/21 いっぱい遊んでね  
子どもたちにプレゼント

村内で活動しているパッチワークサークル「コットンママ」が手作りのおもちゃをどんぐり保育園の子どもたちにプレゼントしました。  
村内の幼稚園などにも提供していて、この日は布で作られた色鮮やかなボールやお手玉、手袋などを提供。プレゼントされた子どもたちは、早速おもちゃで楽しそうに遊んでいました。コットンママ代表の栗田光枝さんは「子どもたちが明るくのびのびと遊んでくれて良かった」と話していました。



11月7日、更別中央中学校の生徒とミヤンマーから来たJICA研修生が書道体験を通して交流しました。  
はじめに研修生のゾウさんから生徒たちへミヤンマーの食事や伝統的な遊びを紹介した後、研修生は書道に挑戦。はじめての体験に四苦八苦しつつも、生徒と話をしながら楽しそうに体験していました。  
松野吉晴さん(3年)は「ミヤンマーの観光名所などを知ることができ、勉強になりました。研修生のみなさんの書道がとても上手で驚きました」と話していました。



11/27 美しい歌声で魅了  
さらべつ音楽祭が開催

さらべつミュージックサービス(矢島俊郎会長)主催の「さらべつ音楽祭」が社会福祉センターで開催され、村内外から約200名が会場に足を運びました。  
音楽祭は村の文化振興助成事業を活用し実施。今年は双子ボーカルユニット「VOICE」と元「ふきのとう」の細坪基佳さんが登場。VOICEは「24時間の神話」や「泣きながらKissして」などを歌い、細坪さんは「流星ワルツ」や「白い冬」などを披露。会場は歌とトークで大いに盛り上がっていました。



11/25 今年も大盛況  
ふれあい広場が開催

村社会福祉協議会主催の第20回ふれあい広場2018さらべつが老人保健福祉センターで開催されました。  
開会にあたり社会福祉協議会の古山うめ会長は「最後まで思い切り楽しみ、晴れやかな気持ちで過ごしていただけたら」とあいさつし、さらべつかしわ太鼓保存会少年部の演奏でスタート。  
会場では縁日やリサイクルバザーなどのイベントが催され、老若男女問わず多くの方でにぎわいました。



11/21 使いやすい工夫が各所に  
曙団地の入居開始

6月から工事が進められていた曙団地の建て替え工事が終わり、入居が開始されました。  
今年度は1棟4戸(3LDK1戸、2LDK3戸)を建設。  
玄関前の通路から室内まで段差がなく、誰もが使いやすいユニバーサルデザインとなっています。  
また、部屋の間仕切りには可動式の家具が使われていて、部屋の数や広さを調整することで世帯構成の変化に対応できる造りとなっています。



11/5 除雪作業の安全を誓う  
安全大会を開催

村道路維持連絡協議会(廣瀬英明会長)が、本格的な除排雪シーズンを前に事故防止への意識をより一層高めようと、社会福祉センターで安全大会を開催しました。  
大会には村内の5事業所から29名が参加し、廣瀬会長が「無いと言えないのが事故。安全運転をお願いします」とあいさつ。森副村長のあいさつ、星更別駐在所長の交通安全講話に続き、参加者を代表して上井昌樹さん(株式会社山内組)が安全宣言を読み上げ、「ゼロ災害達成」を誓いました。

# 村からのお知らせ

## Information from the Village



### 各種アイコンの説明

📣 = お知らせ 🏠 = 健康・福祉 👤 = 募集 💰 = 税金 📄 = 国民年金

📅 とき 📍 場所 🎯 対象 💰 料金

📋 定員 📄 申し込み 🗨️ 問い合わせ

☎️ 電話番号 📠 ファクス 📧 メールアドレス

行政に対するご意見やご要望などを、ハガキ・Eメールなどでお寄せください。

※ハガキは3か月ごとに広報紙へ折り込みしています。

を避けましょう。  
 ・運転中の立ち往生を想定し、車には毛布とスコップ、牽引ロープを準備しましょう。  
 ・暴風による看板などの落下や飛来物に十分注意しましょう。  
 ●もしも暴風雪に遭遇してしまつたときは  
 ・視界不良のまま運転を続けるのは大変危険です。近くのコンビニエンスストアなど建物の中へ避難しましょう。  
 ・車が立ち往生したときは、ハザードランプを点灯し後続車からの追突に注意しましょう。  
 ・車内で救助を待つときは、エンジンを停止し毛布などで体温低下を防ぎましょう。やむを得ずエンジンをかけるときは、排気口が雪で埋まらないようこまめに除雪しましょう。  
 🗨️ 北海道総務部危機対策局危機対策課防災グループ  
 ☎️ 011・204・5008

### 宝くじの発売について

1年の集大成を迎える12月には、年間最大のくじ「年末ジャンボ宝くじ」が発売されます。年末ジャンボの当せん金は、1等・前後賞合わせて10億円です。  
 宝くじを買って、大晦日をワクワクしながら迎えませんか？宝くじの売上約4割は、北海道の貴重な財源として、交通安全や森林づくりなど道民のみ

### 募集

#### 自衛官候補生・予備自衛官補を募集

皆さんの生活を豊かにする身近な事業に役立てられています。宝くじは北海道内で購入しましょう。  
 ● 発売期間 12月21日（金）まで  
 ● 抽せん日 12月31日（月）  
 ● 価格 1枚300円  
 🗨️ 北海道総務部財政局 財政課財政企画グループ  
 ☎️ 011・204・5032

募集項目	受付期間	試験日
自衛官候補生 (男・女)	平成31年1月17日(木)まで	平成31年1月22日(火) ～1月31日(木)

※自衛官候補生の応募資格 18歳以上33歳未満の方

### お知らせ

12月10日～16日は北朝鮮人権侵害問題啓発期間です  
 我が国の緊急の国民的課題である拉致問題の解決をはじめ、北朝鮮当局による人権問題への対処が国際社会を挙げて取り組むべき課題とされている中、この問題について関心と意識を深めていくことが大切です。  
 🗨️ 帯広警察署  
 ☎️ 25・0110

### 「国の教育ローン」(日本政策金融公庫)のご案内

「国の教育ローン」は、高校・大学などへの入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。  
 ● 融資額 お子さん1人につき350万円以内  
 ● 金利(平成30年11月12日現在) 年1・78% 固定金利  
 ● 返済期間 15年以内  
 ● ホームページ 「国の教育ローン」で検索  
 🗨️ 教育ローンコールセンター(ナビダイヤル)  
 ☎️ 0570・008656  
 または  
 ☎️ 03・5321・8656

予備自衛官補		募集項目	受付期間	試験日
技能公募	一般公募		平成31年1月7日(月)～4月12日(金)	平成31年1月7日(月)～4月12日(金)
				4月20日(土)・21日(日)

※予備自衛官補(一般公募)の応募資格 18歳以上34歳未満の方  
 ※予備自衛官補(技能公募)の応募資格 衛生・語学・整備・情報処理・通信・電気・建設・放射線処理・法務などの国家免許などを有する方(詳細については、お問い合わせください)  
 🗨️ 自衛隊帯広募集案内所  
 ☎️ 23・8718



### 「仕事休もつ化計画」

●働いているみなさんへ  
 年次有給休暇の取得は、会社に申し出ることが必要です。仕事を計画的に進めるのと同様に、年次有給休暇についても職場と調和を図り、計画的に取得しましょう。  
 ●経営者のみなさんへ  
 年末年始の事業計画を検討するにあたっては、従業員の年次有給休暇取得を考慮しましょう。また、労使協定を結ばば計画的に年次有給休暇の取得日を割り振ることができる制度(計画的付与制度)もあります。年次有給休暇を取得しやすい環境づくりに取り組みましょう。  
 🗨️ 北海道労働局 雇用環境・均等部指導課  
 ☎️ 011・709・2715

### 生活・仕事相談会を開催します

とちか生活安心センターでは、仕事や生活など多様な悩みごとに対応する相談会を開催します。相談は無料で、秘密は厳守します。開催予定は次のとおりです。お問い合わせ希望する場合はお問い合わせください。  
 📅 ①12月18日(火)  
 ②平成31年1月15日(火)  
 ③2月19日(火)  
 ④3月19日(火)  
 ・相談時間

### 国民年金

「ご存知ですか? 国民年金の任意加入制度」  
 利用できる方は次のいずれかに当てはまる方です。  
 ①年金額を増やしたい方  
 65歳から受けられる老齢基礎年金は、20歳から60歳になるまでの40年間保険料を納めると満額の年金を受け取ることができます。しかし、国民年金保険料の納め忘れなどにより保険料の納付済期間が40年間に満たない場合は、国民年金に任意加入して保険料を納めることで満額に近づけることができます。お申込みできる期間は60歳から65歳までの間です。  
 ②受給資格期間を満たしていない方  
 老齢基礎年金を受けるためには保険料の納付済期間や保険料の免除期間などが原則として10年以上必要となりますが、この要件を満たしていない方も任意加入をすることによって年金を受け取ることができる場合があります。お申込みは70歳まで可能です。  
 ③外国に居住する20歳から65歳未満の日本人  
 海外に在住する日本国籍を持つ方も国民年金に任意加入することができ。お申込みは随時受け付けております。

### 年末年始の「ごみの持ち込みについて」

9時30分～10時20分  
 10時30分～11時20分  
 福祉の里総合センター  
 とちか生活あんしんセンター  
 ☎️ 66・7112

くりりんセンターの年末のごみの受け入れは12月31日(月)正午まで、年始は1月3日(木)から通常通り9時00分から17時00分までです。  
 年末年始は大変混雑することが予想されますので、計画的にごみ収集日にお出しすることをお勧めします。  
 🗨️ くりりんセンター  
 ☎️ 37・3550

### 暴風雪などによる被害の防止について

猛吹雪による吹きだまりや視界不良による被害を防ぐために、一人ひとりが暴風雪などの雪の災害に対する意識を高め、いざというときに「まさか」と思うことがないよう次のことを心がけましょう。  
 ●暴風雪などによる被害に遭わないために  
 暴風雪による被害は晴天から吹雪へと天気が急変したときに特に多く発生しています。  
 ・最新の気象情報、道路情報を十分確認し、暴風雪が予想されているときは無理をせずに外出

### 税金

※厚生年金保険・共済組合などの加入者は対象外です。  
 ※保険料の納付方法は口座振替が原則となります。  
 詳しくは、役場または年金事務所にお問い合わせください。  
 🗨️ 帯広年金事務所  
 ☎️ 25・8113  
 役場住民生活課戸籍窓口係  
 ☎️ 52・2112

村税納期限のお知らせ  
 村民税第4期、国民健康保険税第6期納期限は12月20日(木)です。  
 納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。  
 🗨️ 役場住民生活課住民税係  
 ☎️ 52・2112



# 死亡の届出をするときのお願い

村内の方が亡くなられたとき、死亡の届出はご遺族等の届出人ではなく行政区の方が代理人として行うことが多くあります。代理人の方でも滞りなく手続きを行えるよう、死亡の届出をする際に必要なものやご遺族の方への確認事項などをお知らせしますので、死亡の届出をする際にはご協力をお願いします。

## ■届出に必要なもの

### ①死亡届書

左半分が届書、右半分が死亡診断書になっています。A4サイズの死亡診断書のみを受け取った場合、届書は役場にありますがそのままお持ちください。死亡診断書は、医師に記入・押印などをしてもらってください。

### ②届出人の印鑑(ご遺族などの印鑑)

## ■ご遺族の方に確認すること

死亡届の受理と併せて「火葬許可証」の交付などの手続きを行います。死亡届を提出する方は下記の事項を確認の上、窓口にお越しください。

- ①喪主氏名と連絡先
- ②葬儀の日時と場所
- ③火葬の日時
- ④ペースメーカーを装着しているか
- ⑤遺体収納袋を使用しているか
- ⑥防災無線でお悔やみの放送をするか
- ⑦広報さらべつに掲載するか
- ※⑥と⑦は村内の方が亡くなられた時のみ

## ■役場窓口閉庁日の届出について

窓口の閉庁日に届出をするときは事前連絡が必要です(役場警備員室 ☎52-2111)。  
※平日に届出するときも、事前に住民生活課までご連絡をいただくと手続きに要する時間を短縮できます。

●問い合わせ  
役場住民生活課戸籍窓口係 ☎52-2112

# 水道が凍ったときは 村の指定給水工事業業者へ

これから寒さの厳しい冬がやってきます。長期間外出するときは「水落とし」をしましょう。もしも水道が凍結したときは村の指定給水工事業業者にご連絡ください。

## 更別村指定給水工事業業者

- (株)更別企業 ☎52-3183
- 西田鉄工所 ☎52-2064
- (株)ヤマジョウ ☎52-2036

※解凍にかかる費用などは自己負担です。  
※上記以外にも指定事業者があります。  
詳しくは役場までお問い合わせください。

●問い合わせ  
役場建設水道課上下水道係 ☎52-5200

# 冬休みの自由研究に いかがでしょうか

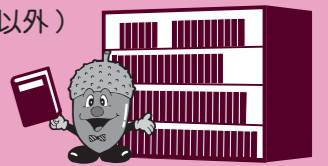
今回の冬休み夢ん子工作教室では「オリジナルトートバック」を作ります。  
けしゴムハンコとマーカー染めで、自由にトートバックの柄を描いてみましょう。  
自分だけのトートバックを作ってみませんか？

- 日時 12月25日(火) 13時30分～15時30分
- 場所 農村環境改善センター創作実習室
- 対象 村内にお住まいの小学生  
※1・2年生は保護者同伴でお願いします
- 材料費 500円
- 定員 15名(先着順)
- 締切 12月14日(金)
- 申込・問い合わせ  
教育委員会事務局社会教育係 ☎52-3171

更別村農村環境改善センター図書室だより

# 本ごよみ

開館時間 9時30分～18時00分  
休館日 火曜日および祝祭日(日・月・土以外)  
住所 更別村字更別南2線96番地11  
農村環境改善センター内  
電話 52-3171



## お知らせ

### ●冬休みブックウォークにチャレンジ!

【12月24日(月)～1月17日(木)】

村内の小・中学生を対象に、期間中10冊本を読むともれなく記念品がもらえます。

夏休みに参加できなかった人も、この機会にぜひ挑戦してください。

詳しくは、各学校で配布したチラシをご覧ください。  
詳しくは、各学校で配布したチラシをご覧ください。

## 今月の展示

一般書コーナー 『大掃除の本』  
児童書コーナー 『クリスマスのえほん』  
『冬休みおすすめのえほん』



## 今月の読みきかせ

12月15日(土) 11時00分～11時30分

- 『GOODNIGHT MOON』  
(英語で読みきかせをします)
- 『カリカリのぼうし屋さん』

## 新着図書案内

### えほん



### 今月のおすすめ本

『わが子に公務員を  
すすめたい親の本』  
寺本 康之/著  
子どもの就職活動を  
どう支えるとよいか  
アドバイスする一冊。

この計画は ひみつです (シヨナ・ ウィンター)	だんしゃく王と メークイン女王 (荻田 澄子)	ソフトクリームの ソフトさん (荻田 澄子)	ほんやきゆう (指田 和)	しろくまの しゅんたい ヒーダー (ティラー・ ヒーター)	ノホホンおらの ねこたち (わし(あや)	からっぽマヨネーズ (ねじめ正一)	ねことねずみ (いも(よう))
-----------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------	-------------------------------------------	----------------------------	----------------------	--------------------

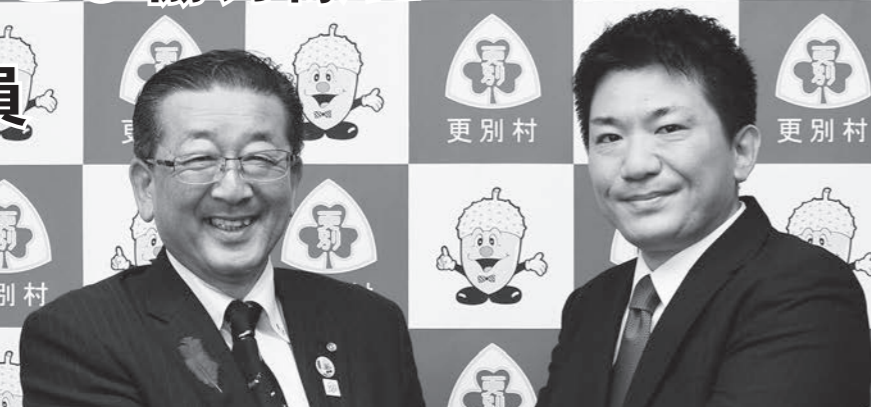
### 児童文学・学習書ほか

### 文学・一般書

メロンについてた手紙 (本田 有明)	ガラスのペーゴマ (権 なほ)	ジュニア楽典 (山下 薫子)	こうえんのおぼけ (斎藤 洋)	放課後ひとり同盟 (小嶋陽太郎)	まだ、同じ夢を見ていた。 (住野 よる)	赤銅の魔女 (乾石 智子)	しない (群 ようこ)	作家ががんばって 試みたこと (高橋三千綱)	宝塚歌劇に誘ったつるの扉 (中本 千晶)	強化版ボールで作る テクノエイド (繁成 剛)	ソシヤルメディア 四半世紀 (佐々木裕一)	藤井恵のまいにち納豆 (藤井 恵)	通信制高校だから全日 制に勝てる (森 和明)	グレイヘアの 美マダムへの道 (朝倉 真弓)
-----------------------	--------------------	-------------------	--------------------	---------------------	-------------------------	------------------	----------------	------------------------------	-------------------------	-------------------------------	-----------------------------	----------------------	-------------------------------	------------------------------

# 地域おこし協力隊に

## 新隊員



地域おこし協力隊に島根県出身の堀江太郎さんが着任しました。

これまで料理人や塾の経営など幅広い分野に挑戦してきた堀江さん。北海道には、ドラマ「北の国から」の世界観に憧れて3年前に移住。ホテルでの勤務を経て十勝管内に住みたいと考えていたところ、更別村の地域おこし協力隊の募集を見つけ応募しました。

11月5日に行われた着任式では、西山村長から「外からの視点が大事だと考えている。今後を見据えて力を貸してほしい」と激励の言葉が送られました。

地域活性化と移住定住支援を担当することについて「人手不足という課題と田舎暮らしをしたい人をマッチングさせて移住促進につなげたい」と意気込みを語ってくれました。

# 献血は命を救うボランティア

11月14日、更別農業高校で献血の意義を学び理解を深める授業が行われました。

2年生の保健の授業の一環で、生徒たちに献血の意義と制度、その実態について知ってもらうことを目的に、北海道赤十字血液センターの職員が講師として招かれました。

はじめに、北海道赤十字血液センター帯広出張所長の桑原昭さんによる「献血は命を救うボランティア」をテーマとした献血セミナーが開かれました。若年者の献血の必要性や病気の治療における輸血の重要性が解説され、「献血は誰かのためという気持ちが大切」と話していました。

続いて、献血に関するVTR「ありがとうの手紙」を見た後、「若者の献血者数を増やすにはどのような取り組みが必要か」「自分の健康を自分で管理するために具体的にどのようなことをするか」などをテーマにグループで討論をしました。

鳥羽耀巳さん(農業科2年)は授業を振り返り「献血は怖いというイメージがあったが、人を救うことができると思うとそのイメージはなくなりました」と話していました。



もっと知りたいあなたにお届け！

# 熱中レポート vol.6

気になるぞ！熱中中学校



## 11月17日、熱中中学校が開催されました

**授業①「共生」講師 黒田 泰裕 先生**  
地域再生の仕掛け人として有名な黒田先生の講義では、市民の熱量を生み出し、戦略的にまちを変えていった話を聞くことができました。

**授業②「社会」講師 澤上 篤人 先生**  
投資家で長期運用のバイオニアとして熱い支持を集める澤上先生の講義では、カッコいいお金の使い方の話を聞くことができました。

**授業③「理科」講師 内海 弦 先生**  
IoT 事業に精力的に取り組む内海先生の講義では、半導体がスマートフォンなどに導入された経緯など、IoT 技術がこれからの生活に不可欠であることを学びました。

## 1月の熱中中学校は、1月12日(土)開催です

講師は、澤樹舞さん(株式会社たべるの代表、ワインスペシャリスト、料理家)、仲山進也さん(仲山考材株式会社代表取締役、楽天大学学長)、浅野大介さん(経済産業省大臣官房政策審議室企画官)です。

授業は無料で見学もできますので、お気軽にお越しください(当日は13時から受付しています)。

## 熱中中学校の活動内容紹介

熱中中学校では、講師のみなさんや生徒、親友のある友人を通じて村の特産品などのPR活動を行っています。今回は、講師の上松恵理子さんと親友のあるメディアアーティストの落合陽一さんに更別農高カレーをPRしていただいた様子を紹介します。テレビなど各メディアでおなじみの落合さんによって更別がPRされていることを期待しています。



## 無料プログラミング教室について

今回は12月22日(土)に十勝さらべつ熱中中学校で開催されます。プログラミング教育について関心のある方、プログラミングでゲーム作りを体験したい方など、多くの村民のみなさまの参加をお待ちしております。参加希望の方は、プロジェクト TECHのホームページ(<https://tokachi.tech/>)からお申し込みください。

また、1月13日(日)にはプログラミング発表会が開催されます。子どもたちからこれまでのプログラミング教室で学んだ技術が発表されます。子どもたちの勇姿をぜひご覧ください。

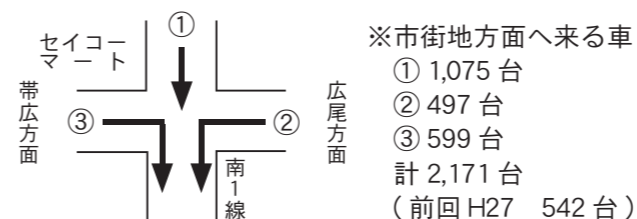
施設に関する問い合わせなどは、熱中開拓機構(☎66-4554)へお願いします。

# 交通量調査を実施しました

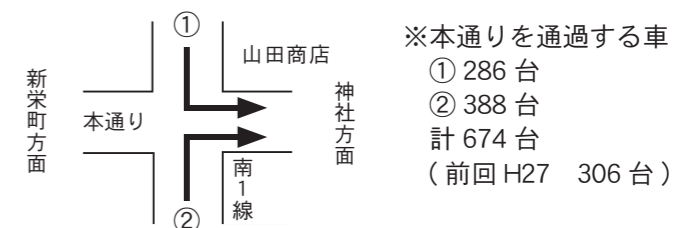
村では交流人口を把握するため、交通量調査を更別市街の3か所で5月から9月にかけて計4回行いました。

## 調査結果の一例

### ◆国道236号・南1線交差点



### ◆南1線・本通り交差点



前回調査した3年前に比べ、市街地中心部に來る交通量が2倍から4倍増加しています。更別ICを利用して市街に來る方や、農村公園大型遊具を利用する方の増加などが考えられ、村への経済効果が期待されます。

●問い合わせ 役場企画政策課政策調整係 ☎52-2114

# 更別農業高校 ニュース

## 見学旅行を終えて

農業科2年 辻 日和  
私たち2学年は10月30日から11月2日の3泊4日で奈良・京都・大阪に行きました。

見学旅行ではたくさんさんの体験をしてきました。そのなかでも建仁寺での座禅体験が思い出に残っています。座禅は難しいと思っていました。座禅は難しいと思いましたが、簡単にできました。座禅の後のお坊さんの話を聞く方が1時間正座をしなからだったのでつらかったです。足が痛くて終わった後はなかなか立つことができませんでした。



## 農業クラブ全国大会に参加して

農業科3年 川上 優太  
10月24日と25日に鹿児島県で開催された農業クラブ全国大会の農業鑑定競技(農業)に参加しました。

全国大会に向けて、夏休みから学習に取り組んできました。大会本番では緊張からミスをしてしまいました。入賞することができてよかったです。この大会を通じて、農業の知識を深めるとともに、全国から集まった農業高校生との交流を深めることもできました。



## letter from Takeshi

# 村長室 だより

NO.37

多くの意見・要望を村政に!



## 地方創生優良事例として熱中小学校の取り組みが紹介されました

11月21日(水)、東京の首相官邸で「第16回まち・ひと・しごと創生会議」が開催され、地方創生の先進事例として海外や全国に広がる熱中小学校の取り組みについて、堀田一夫さん(熱中小学校創設者、元日本IBM取締役)が説明を行いました。

安倍総理はじめ各閣僚・政府関係者の出席のもと、「人口減少・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創造できるよう」との創生会議の創設趣旨を踏まえ、地方創生の優良事例として、プロジェクト説明の機会を与えられたものです。

堀田さんは、「地方創生の担い手人材の育成に向けた取り組みについて」と題してプレゼンテーションを行い、十勝さらべつ熱中小学校をはじめとする全国での取り組みを紹介しました。

## ～子どもからお年寄りまで 笑顔と笑い声があふれ、一人ひとりが輝く村～

「本日は、地方の現場で頑張っている皆さんのお話を伺いました。地方こそチャンスがあると考えた、チャンスが無いと考えた、自分の力で地方でチャンスをつかむことができるかと考えた、やっぱりできないんだなと考えた、その大きな違いが今日お話を伺って、実感できたなと思っています。外から来た新しい発想を持つ人々と、地域をよく知る皆さんとの融合を通じて、化学反応が生まれ、地方に新しい活力と次なる成長の可能性が生まれます。改めて、そう感じました。6月に策定した「まち・ひと・しごと創生基本方針2018」では、U・J・ターンによる起業・就業を力強く後押しする意欲にあふれる女性や高齢者、外国人の方々にその力を感じる分發揮してもらうなどの政策パッケージを盛り込んだところであり、しっかりと地方への人の流れを生み出すため、新しい制度を来年度からスタートさせる予定です。中核中核都市を始め、まち・ひと・しごと創生議論についても、様々な課題の解決に向けた具体的な施策をしっかりと検討していただきたいと思います。」

## 地方創生・地域活性化の要として村にとってなくてはならないものに

今回、優良事例として国より高い評価を受けたことに慢心せず、より一層取り組みの透明化と村民のみなさんご理解ご支援をいただき、熱中小学校がなくてはならない存在となるよう、努力してまいります。

# HAPPY BIRTHDAY!

## 1歳になりました



高木 逢生 ちゃん  
平成29年12月16日生  
柏町

逢いたくて待ち焦がれていた逢生ちゃん。無事に生まれて来てくれてありがとう。

いつもニコニコ、笑顔いっぱいのまま元気に育ってね。

徹・いく子



池田 侑里 ちゃん  
平成29年12月14日生  
上更別南区

お姉ちゃんが一番大好き♡次女の侑里です。何でも真似したがりがり!! スベリ台もブランコもへっちゃら。

ご飯沢山食べて元気に大きくなってね。

嘉峰・加奈子



小椋 優輝 くん  
平成29年12月28日生  
勢雄区

末っ子の優輝です。お兄ちゃんが大好きです。

大きく、元気に育ってね!

孔明・絢子



安村 雨留 くん  
平成29年12月21日生  
南更別区

食べることの大好きな雨留君です。これからも、元気に丈夫で優しい子に育ってね!

英樹・直美



福田 朔良 くん  
平成29年12月30日生  
上更別南区

甘えん坊で、いたずら大好き♡おねえちゃんとのボール遊び大好き♡

これからもたくさん食べてたくさん寝て心も体も大きな男の子に育ってね!

隆太・遥香

## お詫びと訂正

広報さらべつ11月号で誤りがありました。訂正し、お詫び申し上げます。

20ページ  
1歳になりましたゆ  
(誤) 鈴木 俊介さん  
(正) 鈴木 俊輔さん



若葉町 山田 暁陽さん



# 公共施設などの年末年始業務状況

■ ⇒ 休み

	12月				1月					
	28(金)	29(土)	30(日)	31(月)	1(火)	2(水)	3(木)	4(金)	5(土)	6(日)
役場	○	■	■	■	■	■	■	午後休	■	■
改善センター	○	○	○	■	■	■	■	○	○	○
柔剣道場	○	○	○	■	■	■	■	○	○	○
トレーニングセンター	○	○	○	■	■	■	■	○	○	○
改善センター図書室	○	○	■	■	■	■	■	■	■	○
健康増進室	○	○	■	■	■	■	■	○	○	○
福祉の里温泉	○	○	○	■	■	■	■	○	○	○
国保診療所	午後休	■	■	■	■	■	■	■	■	■
歯科診療所	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ふるさと館	○	○	○	■	■	■	■	■	■	○
リサイクルセンター	—	○	○	■	■	■	■	—	○	○
ごみ収集	市街地区	可燃	■	■	■	■	■	可燃	■	■
	農村地区	資源	■	■	■	■	■	—	■	■
し尿汲み取り(水曜日)	年内最終回は26日				—	■	年明け初回は9日			

※国保診療所では、急な病気や怪我のときは診察します。お電話でお問合わせください(☎52-2301)。

## 1月4日(金) 役場臨時窓口を開設します

年末年始の役場閉庁日が12月29日(土)から1月6日(日)までの9日間となることから、1月4日(金)に役場庁舎1階で臨時窓口を開設します。なお、取り扱う業務が限られていますのでご注意願います。

■開設時間 8時30分～12時00分

■その他

■取扱業務

運転免許証などの本人確認書類の提示が必要です。

①戸籍謄本などの戸籍証明書や住民票、印鑑登録証明書の交付

印鑑登録証明書の交付を請求される方は、印鑑登録証を持参してください。

②住所変更の届出

●問い合わせ

③戸籍の届出

役場住民生活課戸籍窓口係 ☎52-2112

### 地域安全ニュース

■更別村の交通死亡事故死ゼロ記録

157日(11月30日現在)

■地域安全運動のお知らせ

飲酒運転は重大な犯罪です。飲酒が予想される場所へは公共交通機関を利用するなどの取り組みを実践し、「飲酒運転をしない、させない、許さない」を徹底しましょう。

また、周りのみなさんも運転者飲酒することのないよう注意しましょう。

### 戸籍の窓口

誕生おめでとう

よしだ あんり 吉田杏莉ちゃん(北更別区) 明史・恵

やま だく あん 山田玖音ちゃん(曙町) 晃・由貴

にし かわり あ 西川莉央ちゃん(若葉町) 公太・和加

お悔み申し上げます

鶴野 サダさん(平和区) 100歳

日崎 サダ子さん(更別区) 97歳

尾畑 京子さん(緑町) 84歳

### 人の動き

2018年11月1日現在

※()内の数字は前月比



総人口  
3,179人  
(-9人)



男性  
1,574人  
(-4人)



女性  
1,605人  
(-5人)



世帯数  
1,322世帯  
(-1世帯)

